

## 近畿地域<sup>※</sup>における米生産をめぐる状況



令和4年1月  
近畿農政局 生産部 生産振興課

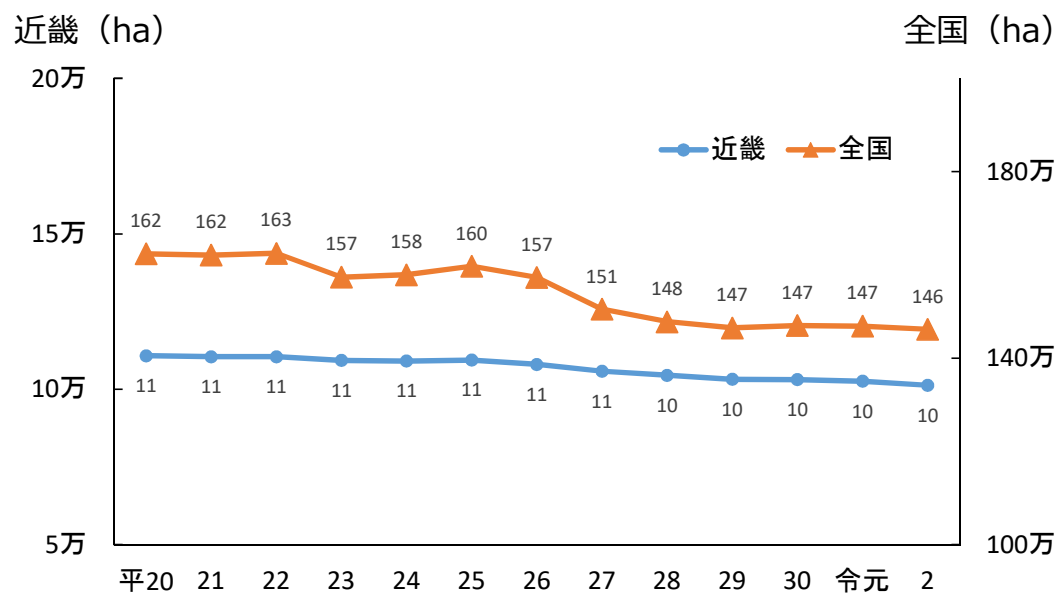
※本資料においては、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

## 水稻の作付面積

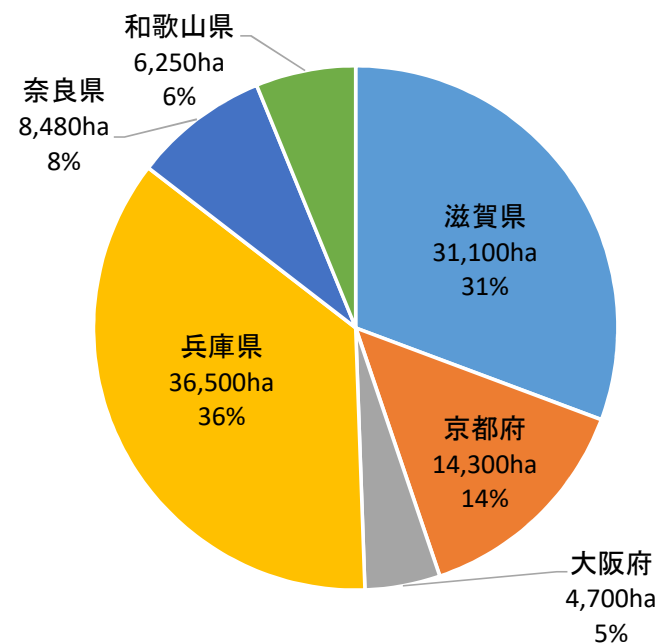
近畿における水稻の作付面積は、令和2年産が10万1,300haとほぼ横ばい推移しており、全国に占める割合は7%となっています。

府県別では、兵庫県が3万6,500ha、滋賀県が3万1,100haと両県で近畿の作付面積の67%を占めています。

### 水稻の作付面積の推移



### 令和2年産水稻の作付面積

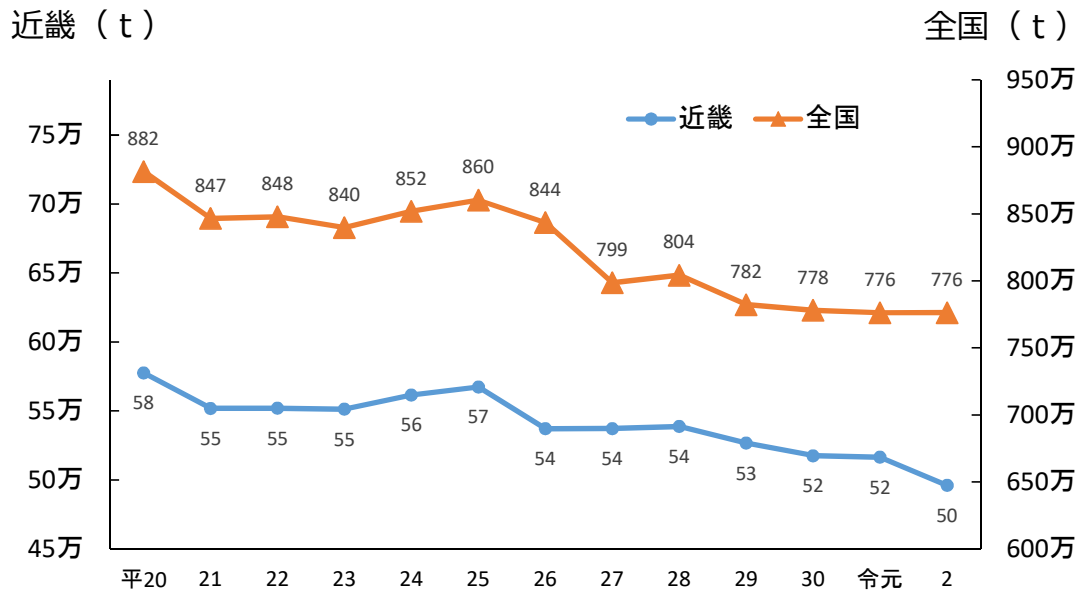


## 水稻の収穫量

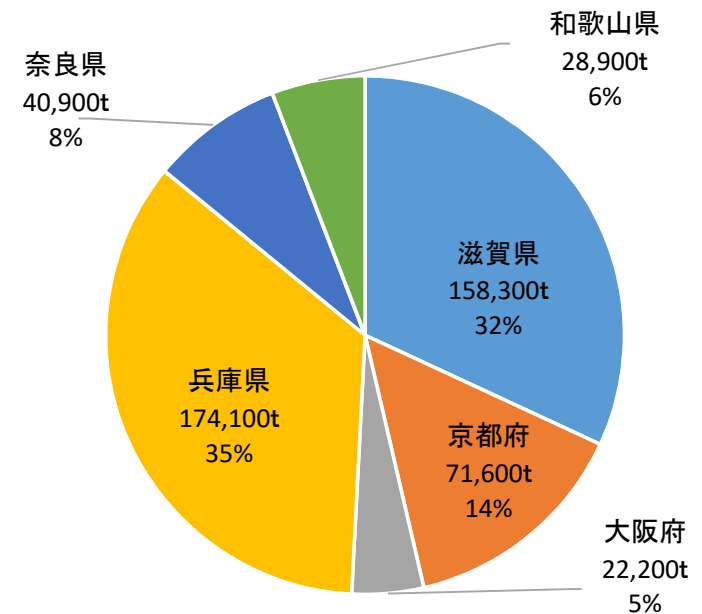
近畿における水稻の収穫量は、令和2年産が49万6,000t(前年比2万400t減)と減少傾向で推移しており、全国に占める割合は6%となっています。

府県別では、兵庫県が17万4,100t、滋賀県が15万8,300tと両県で近畿地域の収穫量の67%を占めています。

### 水稻の収穫量の推移



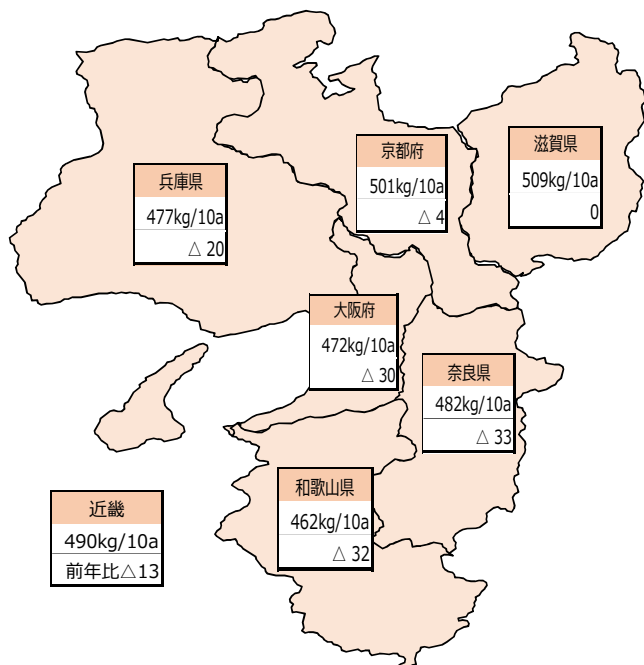
### 令和2年産水稻の収穫量



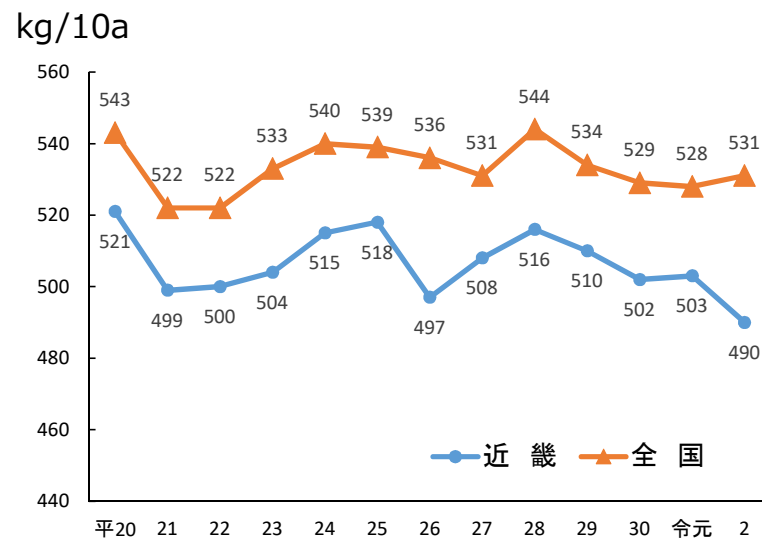
## 水稻の10a当たり収量

近畿の2年産の水稻の10a当たり収量は、7月の日照不足、8月の高温、9月中旬以降はトビイロウンカによる坪枯れが発生し、490kg/10aとなっています。

### 令和2年産水稻の10a当たり収量



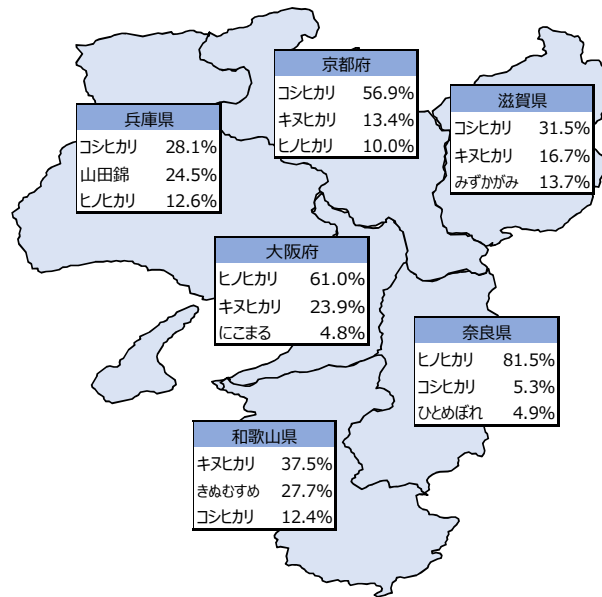
### 水稻の10a当たり収量の推移



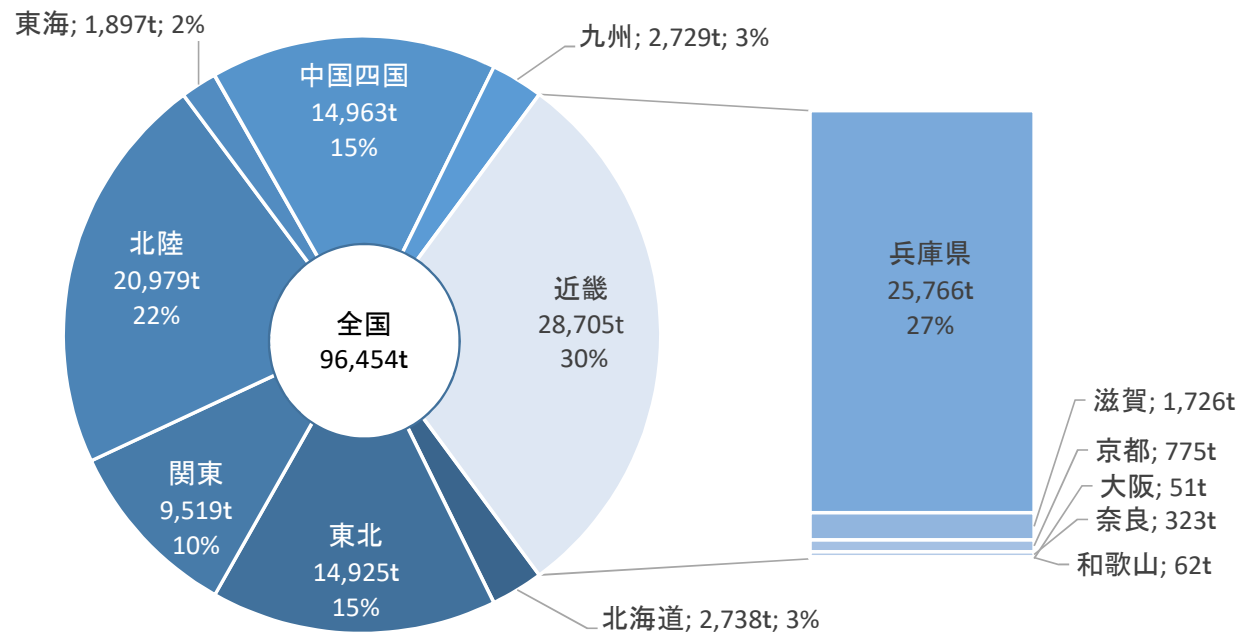
## 水稲の品種別の状況

令和元年産の府県別主要品種の検査状況をみると、コシヒカリが滋賀県(31.5%)、京都府(56.9%)及び兵庫県(28.1%)で、ヒノヒカリが大阪府(61.0%)及び奈良県(81.5%)で、キヌヒカリが和歌山県(37.5%)で、それぞれ各府県でのシェア1位となっています。兵庫県では醸造用玄米の生産が多く、山田錦の県内シェアが24.5%(2位)となっています。令和元年産の醸造用玄米の検査数量をみると、全国の検査数量(96,454t)のうち、兵庫県は27%(25,766t)となっています。

令和元年産水稲の品種別の状況



令和元年産醸造用玄米の検査数量



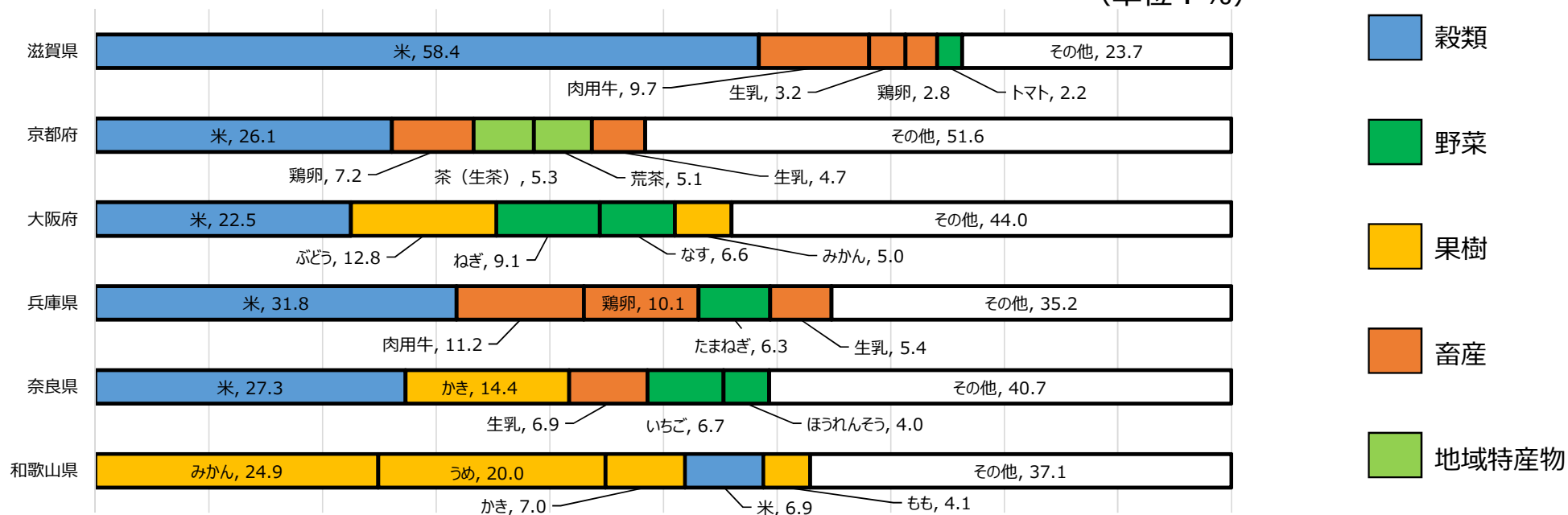
## 農業産出額に占める水稻の割合

令和元年の農業産出額をみると、和歌山県を除く5府県で、米の占める割合が第1位となっています。

中でも滋賀県は、農業産出額に占める米の割合が6割と、他府県と比べて高くなっています。

### 各府県の農業産出額の上位5品目と割合

(単位：%)

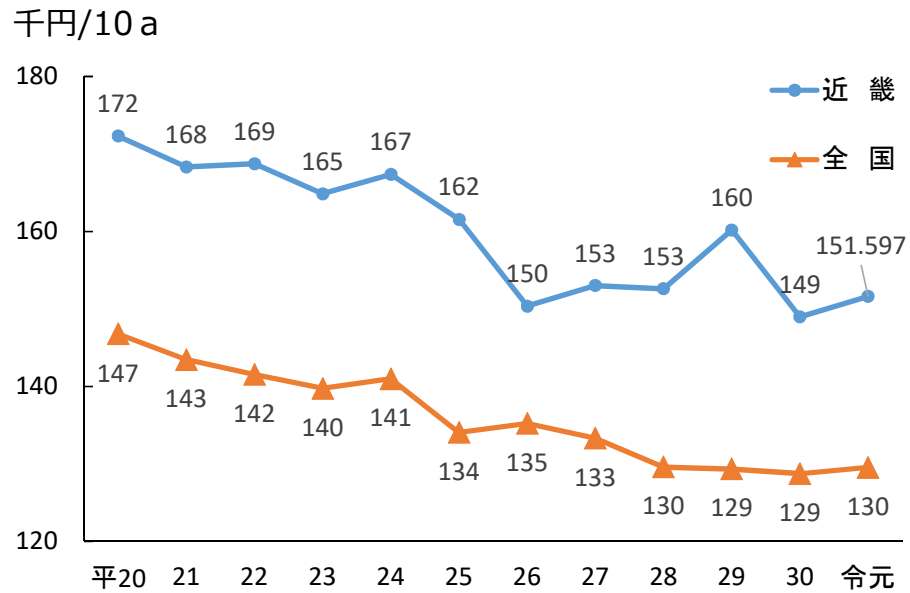


資料:農林水産省「生産農業所得統計」

## 水稻の生産費

近畿の令和元年産の水稻の10a当たり生産費は15万1,597円で、全国と比べ高くなっています。生産費の内訳をみると、労働費が27%、農機具費が25%と高くなっています。

### 10a当たり生産費(全算入)の推移



### 令和元年産米の生産費の構成割合 (近畿)

